

現代文化学科 卒業研究について

2025.3

概要

卒業研究では、学期ごとに2つの課題について、それぞれ2回のレポート提出(中間提出、本提出)します。中間レポート(2000字以上)とは、最終レポート(4000字以上)へ向けて途中まで作成したもののことを指します。中間レポートを加筆修正したものを、最終レポートとして提出することになります。さらにレポート提出者に対して、課題ごとに口頭試問を実施します。なお、それぞれのレポート提出前にレポート相談期間(要予約)を設定します。この期間を利用して、担当教員に相談ができます。

1. スケジュール

【春学期「卒業研究1」履修者・春学期「卒業研究2」履修者】

課題レポート中間提出：2025年5月26日(月)8:50～5月29日(木)15:00

課題レポート本提出：2025年7月1日(火)8:50～7月4日(金)15:00

口頭試問：2025年7月中旬～下旬。日程は試問1週間前を目処に担当者から連絡する。

【秋学期「卒業研究2」履修者・秋学期「卒業研究1」履修者】

課題レポート中間提出：2025年11月10日(月)8:50～11月13日(木)15:00

課題レポート本提出：2025年1月8日(木)8:50～1月13日(火)15:00

口頭試問：2025年1月中旬～下旬。

その他注意事項

- (1) レポートの提出先は CanvasLMS に設ける。
- (2) 開講学期の異なる卒業研究の開講申請期限：
 - ・春学期「卒業研究2」 2025年4月3日
 - ・秋学期「卒業研究1」 2025年9月10日
- (3) 時間を厳守すること。提出の締切時間を過ぎたものについては受け付けない。

現代文化学科

2025 年度卒業研究 課題

卒業研究 1（春学期）各学生は、下記 2 つの課題について、ひとつの学期のうち
に両方とも取り組むこと。

【現文 1】（小池）

現代社会における「宗教」または「消費文化」または「アート」に関わる現象をひとつ取り上げて、論じなさい。

目安として、論文・学術書を 3 点以上読み、ルールにのっとり引用しながら論じること。参照文献リストを必ず末尾に付記すること。

【現文 2】（大倉）

国境を超え形成されたヒトやモノの移動のネットワークは都市に様々な変化をもたらしてきた。近現代の国内外の都市で生じたこうした変化の事例をひとつ取り上げ社会学的知見に基づいて論じなさい。その際、テーマや事例に関連する論文・学術書から 3 点以上を参照し、出典を明記し、正しく引用・参考を行いながら論じること。また、末尾には、参照した文献・資料をまとめて記すこと。

卒業研究 2（秋学期）各学生は、下記 2 つの課題について、ひとつ
の学期のうちに両方とも取り組むこと。

【現文 3】（大倉）

気候変動・地球温暖化に関連した事件や災害、社会問題の具体例をひとつあげ、その事例に対する取り組みに関する現在の課題や問題について論じなさい。その際、テーマや事例に関連する論文・学術書から 3 点以上を参照し、出典を明記し、正しく引用・参考を行いながら論じること。また、末尾には、参照した文献・資料をまとめて記すこと。

【現文 4】（小池）

「外国人との交流」「外国人の増加」などをめぐり、あなた自身の体験談を何かひとつ紹介し、そののちに、そこから社会全体のどのような変化、特徴、問題が見えてくるのかを論じなさい。

目安として、論文・学術書を 3 点以上読み、ルールにのっとり引用しながら論じること。参照文献リストを必ず末尾に付記すること。